

吟道月報

NO13
18.8.5

頌心会

れ十七組の出場があったが、頌心会からは出
なかつた。

頌心会の歩み(四十五年)

昭和四十五年は県本部の登録団体五五支部、会員数
も二三四名と飛躍的な発展を遂げ、頌心会も又会員
数は二〇〇名に近く、登録人員を百七十名とし、県下
や四位の大きな会となった。この年は行事も又多岐を
極め吟道界隆輝かしい年となった。

三月十五日には才三回選手吟詠連盟の発表会を開催
初めめの試みとして午前九時半より、午後四時半まで
七時間、出題数一七〇を盛って開かれた、頌心会、
吟友20、金港22、青嵐9、逗吟15、光8、紫舟15と内
容的にも吟力も向上盛会であった。

三月二十九日には横浜市西区公会堂で才三回県大会が
開かれ独吟吟五題と詩舞、日本を愛すを頌心会か
ら出した。この県大会で初めて合吟コンクールが持た

六月七日には芸風会総本部の才五八回全国大会が国立教
習会館で開催され、内容も多岐に亘り県会百名の大会

吟、近県本部代表の立休吟十五名一組の合吟コンクール
と会場に吟声響きわたる合吟コンクール三十四組の中に
頌心会堀内支部より男女混成の一組も出場、見事入賞の
栄冠をかち得た。カーパイ吟じたのが好結果をもたらし
た杯であった。又男女混成で入賞は頌心会だけであった
十一月二日には葉山町文化祭に詩吟詩舞の発表を行い
出演六題、会場は終始満員で盛会を極め葉山町文化祭の
一行事として定着した。

十一月八日、才24回県大会は川崎市中原会館で行はれ
頌心会より独吟は三名、連吟コンクールに大船支部の平
本暮山、小山禪山出吟入賞、頌心会のために五丈の気を
はいた。

十一月十五日、逗子市文化祭には出題一〇〇の内、頌

心念から吟50題と誦舞9題を以つて出場、この度は各
会とも欠吟も少く極めて盛況であつた。この会以後又
化協会に登録員数を百名に限定し、他会の出吟数を増
し出吟者も重子を主体とした既員とする」とした。

頌心会本部関係

◎ 秋季査定会九月十六日(日)一〇、〇〇〇〜一六三〇
重子市図書館ホールで行なわれる。前回同林初段、
二段はホール別室で、初段以上はホールで同時刻一
〇、〇〇から行われる。

受験者は各自の番号を印章より聞き時刻におくれな
いよう参集ありたし、

査定を受ける有資格者次の通り

初段(72名)二段(27名)初位(20名)三段(16名)
四段(18名)中位(28名)五段(14名)六段(3名)

奥位(4名)準師範(2名) 計二〇四名

◎ 査定料二〇〇円、九月十六日までに各支那毎に取ま
との直接会長まで(次期以後は総務千葉劔風宛)提出
のこと、

◎ 在風先生展覧諏訪吟行会

八月四日現在で参加者次の通りで尚ほ名位の参加者の
増員を希望します。八月中旬頃までに申込みを待ちまし
て、残りは他の会に呼びかけて定員一〇〇名にしたいと
思います。御協力下さい。

重子(12) 梅山(13) 紫舟(2) 沼岡(2)
蓮鼓(3) 堀内(25) 大船(12) 戸塚(9)
下山口(4) 一色(2) 計八四名

◎ 新会員名簿

新しく会員名簿を十月一日附で作製したいと思いま

す。九月一日現在員の氏名、雅号、住所、電話番号
 身今々各員に再確認の上、九月十六日までには総務宛
 提出して下さい。特に名前、片假名、平假名、変
 体文字を間違なく。

◎ 月例報告

支那の月頭報告がなかなか履行されていません、爾
 今は筆書で会員異動と総務千葉劍風死(遊子市池子
 一の四の十一)お送り下さい。投稿は封書で、尚九
 月一日附の月頭報告で会員数を確認したいと思いま
 すので、前項と関連し是非報告下さい。

◎ 碩心会理事

碩心会理事、次の通りとなりました。

○ 印は支那長(最上段)

遊子 ○ 竹村梅風、千葉香風 猪田和風

堀内 ○ 加藤洲風、中村愛風 佐々岡溪山

大橋 ○ 佐藤鳩山、若林静山 田所洋山、佐々木彰泉

一色 ○ 坂本桂山 守谷尚山 鈴木笙山

下台 ○ 森谷俊泉 新倉久泉 沼田義泉

長柄 ○ 根岸沼山、根岸里山、荒井島泉

沼間 ○ 松野望山 池田東山

桜山 ○ 早瀬静泉 玄瀬清泉 村田瀧泉

山の根 ○ 栗原岩三

銀詠 ○ 橋本切平 大久保達男

吟補 ○ 大屋鉄之助

紫舟 ○ 小林紫風

建設 ○ 村田弘泉 宗形菊泉

富士見 ○ 井沢正泉

戸塚 ○ 鈴木萃山 大貫汰泉

紫鷲 ○ 熊田幸春

会員近況

新会員

(登録漏れを含む)

一色支部	井口 文子	葉山町一色一、八〇二	電話(75)	四〇一五
〃	関水又三子	〃 一色三、三三六	〃 (75)	一、三一五
堀内支部	比企 とよ	葉山町堀内一、〇〇五	〃 (75)	〇一三四
〃	金子 よし	〃 堀内一、三六一	〃 (75)	四五四二

退会役員

葉巻支部 秋山正一(転勤) 清水幸男(転勤) 石井実(転勤)
 〃 佐藤泰弘(〃) 井上純一(〃)

訃報

沼向支部長黒田老山さん、一年近く入院中のところ、八月四日夜逝去されました。沼向支部建設発展に力を尽され、業半にして、に残念です謹しんで哀悼の意を表し、御冥福を祈ります。